

## ◆ 平成26年度活動報告シート ◆

団体名：大谷川源流の会  
 代表者：代表 内野 訓雄  
 URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

鶴ヶ島市の南西部にある県立農業大学校の中とその周辺には、大谷川の源流となる湧き水がある。湧き水の周辺は昔からの里山の自然環境が残っている。平成27年に当学校が熊谷市に移転し、県と市民との協議で、当地の自然環境を残しながら、企業を誘致することが決まり、現在計画が進んでいる。学校内と周辺にある自然環境を保全して行く体制づくりが急務となっている。また、当学校の周辺にある雑木林と畑の周辺には、不法投棄のゴミが散乱し、水路脇も管理されず、野草に覆われている状態が続いていた。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

#### ①マダケ林の整備活動（2014年5月24日）

県立農業大学校の中にあるマダケ林の整備を行なった。参加者は7名。マダケ林は永年手を入れていなかったため、昨年2月の大雪により、マダケが雪の重みで折れて倒壊したため、倒壊したマダケの処分を行なった。



#### ②一般に呼びかけたマダケ林の整備活動（2014年6月22日）

6月22日に市内の里山保全をしている他の活動団体や一般の市民にもチラシを作成して参加呼びかけを行なって準備をしてきたが、大雨のため中止した。

#### ③運動公園上流の水路脇の草刈り作業（2014年7月19日）

県立農業大学校の出口から運動公園の入口まで、200mの内約100mの範囲の水路脇の草と灌木が伸びたままになっていたため、刈り払い機で切り払った。参加者は5名。



#### ④マダケ林の整備活動（2014年8月23日）

マダケの竹林整備を7名で行った。3ヶ月間管理作業を行なわなかったため、新たに大量のタケノコが生え、風景が一変している中、間引き作業を行った。

#### ⑤大谷川のクリーン活動（2014年10月19日）

市内3箇所の大谷川で一斉に行なわれるクリーン活動の一環として、12名の会員が集まり実施した。ゴミの回収を実施した区間は、関越自動車道と交差する暗渠の入口南中学校の脇まで。回収したゴミ袋の数は、可燃物が5袋、不燃物が1袋。

### 3. 活動の成果

昨年の異常な降雪により、崩壊した農業大学校内のマダケ林の整備を手がけることができた。また、水路脇の草刈りを行うことで、ゴミの不法投棄を防ぐことができた。水路の中のゴミの回収を行うことで、下流へのゴミの流下を多少防ぐことができた。

### 4. 今後に残された課題

農業大学校の移転後の県の企業の誘致計画がまだ分からないが、湧き水とその周辺の里山環境の保全を続けて行くための体制づくり、大勢の市民が関われる仕組みづくりが、今後重要になってくる。そのための資材も必要になる。